

会話Ⅴ 【捕鯨をめぐる戦い】

単語

- 捕鯨：クジラを捕まえること；whaling
- 国際世論：Global public opinion
- 敵に回す：oppose against
- 規制：regulation
- 乱獲：over-hunting
- 合法的に：legally

本文 1

捕鯨をめぐり、日本、ノルウェー、およびアイスランドは多くの反捕鯨国や国際世論を敵に回している。国際捕鯨委員会（IWC）の規制により、1986年以降商業捕鯨を行うことは違反とされている。だがIWC加盟国は、「科学調査」が目的であればクジラの命を奪うことが認められている。日本はIWC加盟国であり、日本の捕鯨産業は調査目的で何百頭ものクジラの命を奪い続けている。日本は、こうした調査が乱獲から鯨類資源は回復しているかを見極めるために必要であると説明している。また、自国の捕鯨が、いかなる種の生存も脅かすものではないとも言っている。そうではあっても、調査捕鯨で捕獲された鯨の肉は合法的に売ることができる。

質問

- ① IWCは商業捕鯨を禁止していますが、どんな理由であれば捕鯨してもいいですか？
- ② 日本は捕鯨の理由は何だと説明していますか？
- ③ 日本が捕まえた鯨は最後どうなりますか？

単語

- 遠洋：distant ocean
- 生態系：ecology
- 一理ある：have a merit; partially makes sense

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">• 妥協点 : compromise• 容易ではない : not easy = 簡単じゃない |
|---|

本文 2

日本の捕鯨賛成派は、捕鯨が長い文化的伝統の一部だと主張する。日本の太地町という漁村では小型漁船を使った沿岸捕鯨が行われてきたが、これこそが伝統である。遠洋での産業捕鯨が発展したのは、第二次世界大戦後に過ぎない。賛成派はまた、鯨肉が日本の食事の伝統的な一部をなすと主張するが、鯨肉の需要は過去最低である。

捕鯨を批判する人々は、このような「調査」に明確な目的がないと主張する。この立場からすれば、海洋の生態系において重要な役割を果たしている鯨を捕ることはおろかだと言える。さらに国際政治の面で見ても、捕鯨は日本のイメージを悪くしている。

いずれの見解も一理ある。だが、双方が受け入れ可能な妥協点を見つけるのは容易ではない。

質問

- ① 日本の捕鯨賛成派の主張は何ですか？ 2つあげてください。
- ② 日本の伝統的な捕鯨の方法はなんですか？
- ③ 捕鯨をすることのデメリットは何ですか？ 2つ書いてください。